

災害なんかに負けない地域をつくろう！

北区六郷北学区

震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、六郷北学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいか日頃から考えておきましょう。

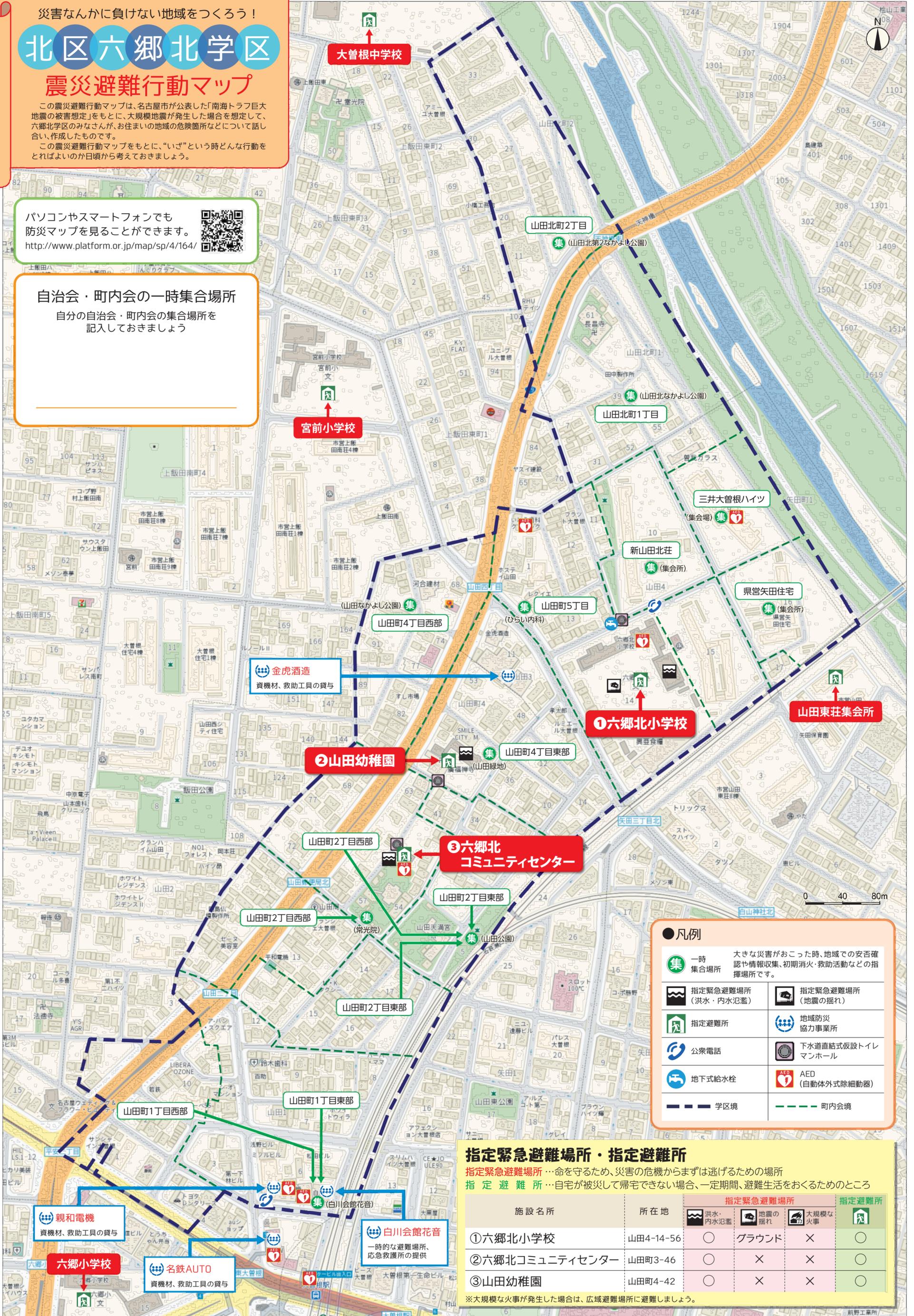
パソコンやスマートフォンでも
防災マップを見ることができます。



<http://www.platform.or.jp/map/sp/4/164/>

自治会・町内会の一時集合場所

自分の自治会・町内会の集合場所を
記入しておきましょう



凡例

	一時集合場所	大きな災害がおこった時、地域での安否確認や情報収集、初期消火・救助活動などの指揮場所です。
	指定緊急避難場所 (洪水・内水氾濫)	
	指定緊急避難場所 (地震の揺れ)	
	指定避難所	
	地域防災協力事業所	
	公衆電話	
	下水道直結式仮設トイレマンホール	
	地下式給水柱	
	AED (自動体外式除細動器)	
	学区境	
	町内会境	

指定緊急避難場所・指定避難所

指定緊急避難場所…命を守るため、災害の危機からまずは逃げるための場所
指定避難所…自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活をおくるためのところ

施設名所	所在地	指定緊急避難場所			指定避難所
		洪水・内水氾濫	地震の揺れ	大規模な火事	
①六郷北小学校	山田4-14-56	○	○	×	○
②六郷北コミュニティセンター	山田町3-46	○	×	×	○
③山田幼稚園	山田町4-42	○	×	×	○

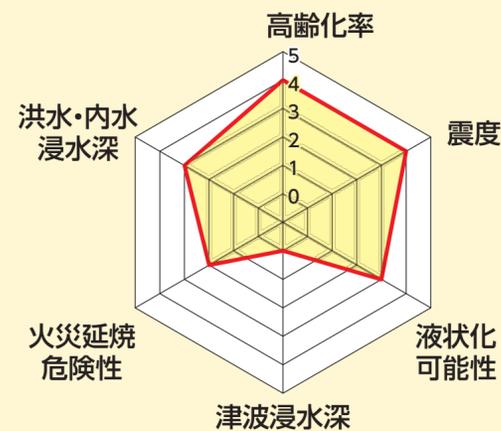
※大規模な火事が発生した場合は、広域避難場所へ避難しましょう。

北区 六郷北学区 災害時の特性

六郷北学区では、南海トラフ地震が発生した場合、震度6強の揺れが起こる可能性が想定されています。火災が発生した場合は、燃えて倒壊する建物が道を塞いだり、強い熱風が吹き荒れる懸念があります。また、液状化現象が起こる可能性が高い箇所もあり、建物が傾いたり、泥水が溢れだし道を通ることができなくなる可能性があります。また、大雨等により矢田川がはん濫した場合は、1.0mから2.0mの浸水が想定されています。

リスクレーダーチャート

	値	5段階
高齢化率	27.2%	4
震度	6強	4
液状化可能性	全域で小～中	3
津波浸水深	0m	0
火災延焼危険性	100～500棟未満	2
洪水・内水浸水深	1.0m～2.0m	3



※各指標の5段階の基準は、地区防災カルテに基づきます。地区防災カルテは名古屋市公式ウェブサイトをご覧ください。

地区防災カルテはこちらからアクセス



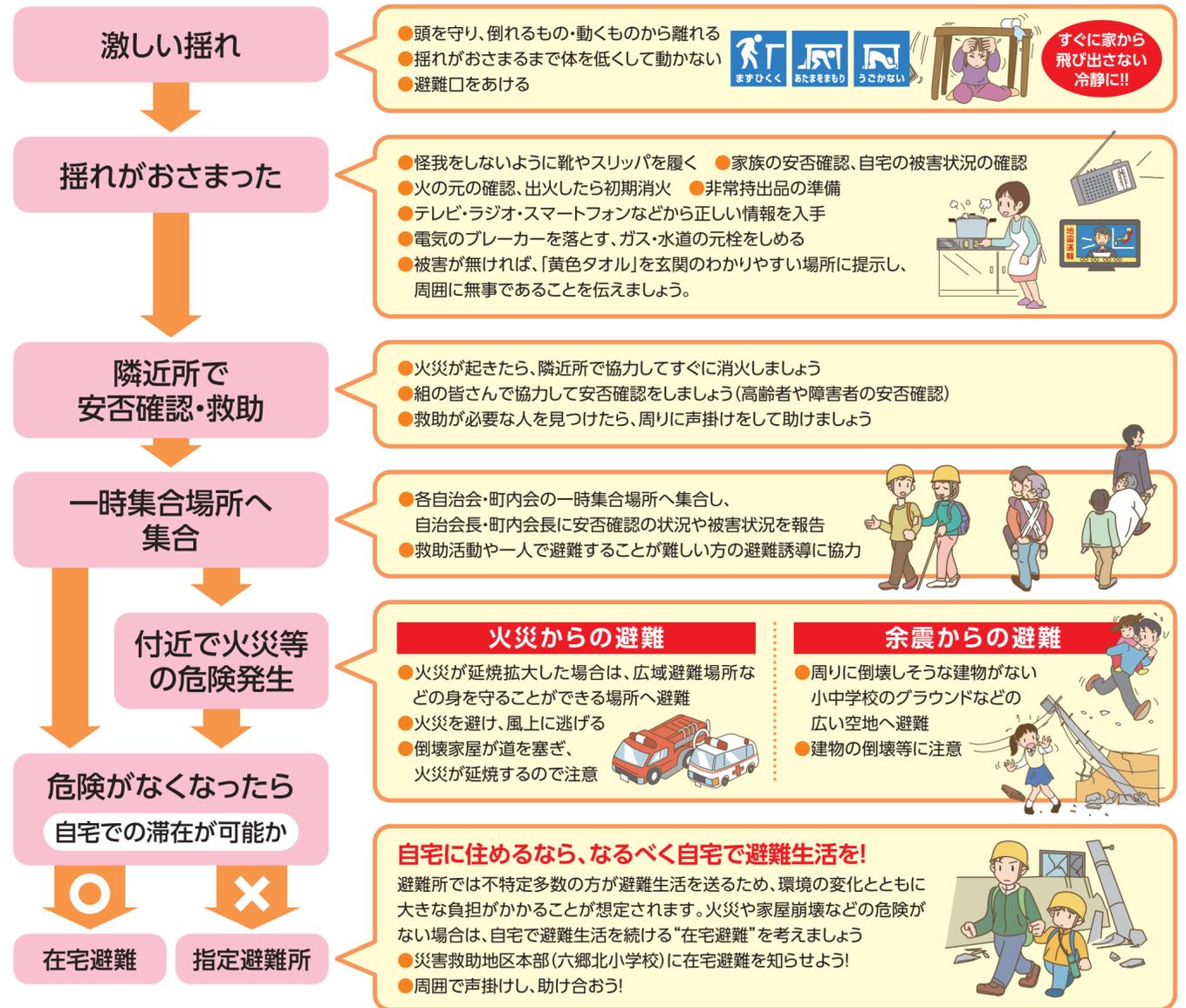
普段からの備え

家族や自治会・町内会で話し合うなど、日頃から防災・減災意識を高め、いざという時に備えましょう。

- **建物を耐震化する。**
 - 昭和56年5月以前に着工した住宅には助成制度があります。
- **家具を固定する。(転倒防止対策)**
 - 家具に押しつぶされたり、避難の妨げとならないよう家具等を固定しましょう。
- **非常持出品・備蓄品を準備しましょう。**
 - 水や食糧、携帯用トイレ等の備蓄品を1週間分、そのうち3日分は非常持出品として持ち運びができるようにしましょう。
- **安否確認方法を決めておく。**
 - 災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板サービスを確認しておきましょう。(毎月1日・15日、正月三が日、防災週間などに体験できます。)
- **指定緊急避難場所、指定避難所、自治会・町内会の一時集合場所等を確認する。**
 - 避難場所等を確認しておきましょう。また、避難するルートも確認しましょう。



地震発生! 六郷北学区災害時の対応ルール



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障害のある方などの避難行動を早めました。**日ごろから地域でお互いに顔の見える関係を構築し、地域みんなでいち早く避難行動がとれるよう協力しましょう。**

情報の入手や判断が難しい方

例えばこんな方
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

対応方法
優しい言葉でゆっくり声かけ
メモや、身振り手振りで伝える

移動が難しい方

例えばこんな方
普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

対応方法
複数で手伝う
身近にあるものを利用する

住民からのメッセージ

- 学区の訓練に一緒に参加しましょう
- 日頃からのつながりを大切にしましょう
- 断水に備えてトイレ対策もおきましょう